



高原中学校体育祭(令和5年9月10日)

町
議
会



高
原
町

だより

たちばな

「高原町の町木」



85号

令和5年8月・9月

8月臨時議会・9月定例会

【目次】

- 8月臨時会・9月定例会のあらまし・・・・・・・・・・ P 2～P 6
- 表決の分かれた議案、発議第5号・発議第6号について・・・・・・・・ P 7
- 令和4年度ふるさと納税総括、キャッシュレス促進事業について・P 8
- 一般質問・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 9～P 13
- きらり☆たかはるびと・編集後記・・・・・・・・・・・・・・・・ P 14

8月臨時会のあらまし 第5回 臨時会（令和5年8月1日）

第5回臨時会は、8月1日の1日間で開催され、専決処分に係る補正予算の承認1件、工事請負契約2件、補正予算1件が提案され、原案どおり承認、可決しました。

【議案の概要】

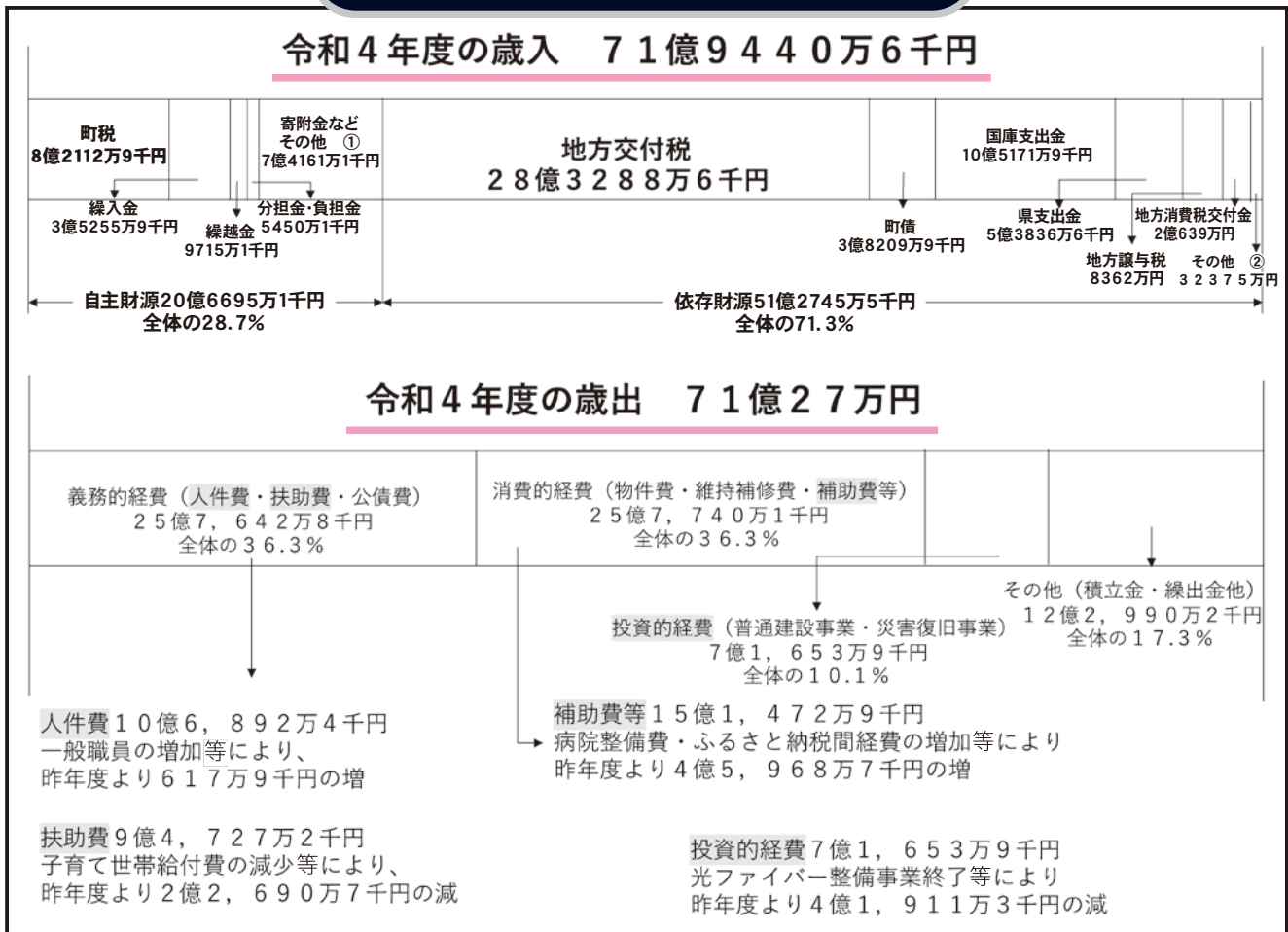
- 議案第39号 工事請負契約の変更について…令和3年発生（繰越）第103号 道路災害復旧事業 十文字・鷹巣原線
- 議案第40号 工事請負契約について…令和5年度 街路事業（社総金）二葉・村移線 広原工区工事
- 議案第41号 令和5年度高原町一般会計補正予算（第6号）…台風14号で被災した水源地水道組合の送水管を、仮設管から布設替に要する経費330万円

9月定例会のあらまし 第6回 定例会（令和5年9月6日～20日）

第6回定例会は、9月6日から9月20日までの15日間で開催され、令和5年度の補正予算案件6件や令和4年度の一般会計をはじめとする特別会計や企業会計の歳入の歳出決算等9件、人事案件3件、条例改正等5件を同意、承認、認定、可決しました。

また、議員発議により高原町議会議員の請負の状況の公表に関する条例と議会の在り方検討特別委員会設置に関する決議が提案され、いずれも可決しました。

令和4年度一般会計決算

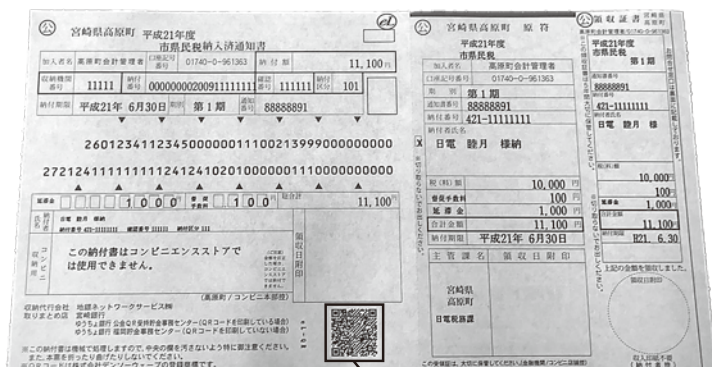


町税、保険税について

令和4年度の町税の収納率は、95.4%（現年度、滞納繰越分含む）で、国民健康保険税の収納率は、83.8%（現年度、滞納繰越分含む）となっています。

本町の各種税金等のお支払いは、銀行・コンビニ・電子決済（PayPay等）の他にQRコードでの納付が可能です。特にQRコードでのお支払いは手数料負担が少ないので行政コストの削減につながります。

納入についてご不安な面や相談などは、税務会計課までお尋ねください。



このQRコードを読み取る

高原町の基金

（令和4年度決算） ※出納整理期間中の積立て、取崩しを含む。

- 財政調整基金・・・12億9,683万8千円
（令和3年度決算時から8,107万5千円の積増し）
- 学校基金・・・5,189万9千円
（令和3年度決算時から変動なし）
- 公共施設等整備基金・・・4億8,490万9千円
（令和3年度決算時から6,652万2千円の積増し）
- ふるさと振興基金・・・4億5,646万8千円
（令和3年度決算時から1億4,527万円の積増し）
- 森林環境譲与税基金・・・1,791万円

※上記の基金を含む全20基金が運用されています。

報告3件

1. 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について
2. 令和4年度高原町健全化判断比率及び資金不足比率について
3. 令和4年度奥霧島地域商社ツナガルたかはる株式会社事業実績及び決算について

人事案件（同意9号・10号・11号）

同意3件

委員の任命

★教育委員会の委員の任命について同意しました。

- ・有水 りえ子さん

★固定資産評価審査委員会の委員の選任について同意しました。

- ・星山 健二さん
- ・岡元 義一さん

よろしく
お願いします。



議案第43号

○町長等の給与の特例に関する条例の一部を改正する条例

●町長の給与は、現在15%が減額されていますが、今回の提案は、月額30%（毎月21万6,900円）が減額されるものです。これを、令和7年10月14日（任期期間）までとする提案があり、可決しました。

●副町長・教育長の給与は、現在の10%から25%へ減額する提案があり、可決しました。これにより副町長は、毎月17万3,700円、教育長は、毎月16万4,100円が減額されます。期間は、副町長は令和7年5月5日まで、教育長は令和6年3月31日までです。

令和5年度 一般会計補正予算（第8・9号）の主な内容

第8号

- 障害者介護給付・訓練等給付費・・・・・・・・・・・・・・・・6,002万6千円
- 新型コロナウイルスワクチン接種事業・・・・・・・・1,510万2千円
（新型XBB株対応ワクチン）
- 高原町和牛繁殖経営緊急対策支援事業補助金・・・・・・・・1,125万円
- 農地・農業用施設災害復旧費（現年災害）・・・・・・・・749万9千円
（7月豪雨・台風6号で被災した農地・農業用施設等復旧）

第9号

- 災害等廃棄物処理事業・・・・・・・・・・・・・・・・1,000万円
（家屋等廃棄物及び倒木や土砂撤去によるもの）
- 農地・農業用施設災害復旧費（現年災害）・・・・・・・・9,539万9千円
（農地・町道・農道仮復旧及び水路等補修費など）



竹広地区



現地調査

令和4年度決算に関わる現地調査

- 高原中学校校舎屋根補修工事（管理棟屋根施工面積約1,000㎡）・・・2, 239万5千円
- 社会資本整備総合交付金事業、並木旭台線（施工延長=231.6m）・・・・4, 798万円
- 社会資本整備総合交付金事業、並木旭台線（繰越分）（施工延長=172.7m）2, 500万円
- 県営畑地帯総合整備事業（後川内2期地区受益面積59ha）・・・・2, 461万8千円
- 霧島美化センター管理事務所 屋根改修事業（1棟 施工面積=220㎡）352万4千円
- 皇子原公園コテージ改修工事（2基）・・・・・・・・・・・・・・・・270万8千円
 - 〃 あずまや改修工事（1棟）・・・・・・・・・・・・・・・・339万9千円
 - 〃 公衆トイレ改修工事（一式）・・・・・・・・・・・・1, 242万3千円
 - 〃 遊歩道バリアフリー等改修工事（一式）・・・・・・・・114万9千円

全62箇所 総額 4億5,660万7千円



皇子原公園コテージ改修工事



高原中学校校舎屋根補修工事



皇子原公園あずまや改修工事



並木旭台線工事



皇子原公園公衆トイレ工事



県営畑地帯総合整備事業(後川内)

令和4年度決算認定 (質疑のあった主な事業)

- ふるさと納税特産品贈呈事業・・・4億3,810万2千円
- 非接触レジ導入事業・・・125万6,200円
(現金及び各種キャッシュレス決済対応レジを住民係に導入)
- 記帳台導入事業・・・390万5,000円
(マイナンバーカードを活用して6つの申請書を発行できる機械を導入)
- 放課後児童健全育成事業・・・2,742万9,941円
(町内4か所にある昼間保護者のいない家庭の小学児童等の健全育成のための事業費)
- 断水被害対策事業・・・348万9,863円
(台風14号により断水被害に対し、飲料水購入及び臨時給水所設置・運営等に要した経費)
- ごみ袋作成事業・・・499万6,640円
(高原町指定ゴミ袋36万枚作成費用として)
- 塵芥処理委託費・・・3,575万7,069円
(可燃物・不燃物及び廃プラ処理委託費)
- ふれあい収集事業・・・53万3,500円
(自らゴミ集積所まで排出することが困難な方に対し、自宅玄関前まで伺い回収に要した経費)
- たかはる宿泊施設利用助成事業・・・420万円
(コロナ禍での誘客促進及び地域経済の活性化を促進するために町内宿泊者への助成)
- 町道維持補修事業・・・3,945万1,433円
(194か所の町道維持・補修に要した費用)
- 高原町立小中学校施設整備基本計画策定業務・・・1,221万円
(小中一貫教育学校施設整備に係る基本計画策定業務)



マイナンバーカード等で申請書が発行できる機械



現金及び各種キャッシュレス決済対応レジ

表決が分かれた議案別賛否一覧 令和5年 第6回定例会 議決結果(内容)

議案番号	件名	議決結果	①西嶋陽代	②岩元礼子	③福澤卓志	④温水宜昭	⑤末永充	⑥外村仁	⑦郡山貞利	⑧山下香織	⑨陣圭介	⑩前原淳一
議案第43号	町長等の給与の特例に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	●	○	—
議案第47号	令和5年度高原町一般会計補正予算(第8号)	可決	●	○	○	○	○	○	○	○	○	—
認定第1号	令和4年度高原町一般会計歳入歳出決算認定について	認定	●	○	●	○	○	●	○	○	○	—
認定第4号	令和4年度高原町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	●	—
認定第7号	令和4年度高原町病院事業決算認定について	認定	○	●	○	○	○	○	○	●	●	—

「○」：賛成、「●」：反対、「除」：除斥、「棄」：棄権、「欠」：欠席

発議第5号・・・高原町議会議員の請負の状況の公表に関する条例を制定しました。

- 趣旨及び概要…これまで地方自治法では議員個人と町との請負が認められていませんでしたが、法改正により法令で定める一定金額(300万円)までは、規制の対象から除かれることとなったため、請負をする者である議員が、一定の事項を議長に報告し、請負の状況を公表すること等により、請負の状況の透明性を確保し、議会の運営の公正及び事務の執行の適正を図ることを目的として条例を制定するものです。

発議第6号・・・議会の在り方検討特別委員会を設置しました。

- 設置期間…令和5年9月20日から調査研究終了まで
- 目的…町民参加を基本とする開かれた議会を実現し、本町の豊かなまちづくりに貢献するため、議会及び議員の活動の活性化と充実に必要な事項についての調査研究を行う。
- 構成員…議長を除く9人 ◎委員長 陣 圭介 ○副委員長 温水 宜昭

議会の動き (7月8日～10月2日)

- 臨時会・・・8/1会期1日間
- 定例会・・・9/6～9/20会期15日間
- 議会運営委員会・・・5回(7/27・8/30・9/6・9/8・9/19)
- 全員協議会・8回(7/19・7/27・8/7・9/1・9/6・9/8・9/19・9/20)
- 総務経済常任委員会・・・3回(8/9・9/15・9/19)
- 文教厚生常任委員会・・・4回(7/21・9/1・9/15・9/19)
- 議会だより編集委員会・・・2回(9/29・10/2)
- 議会の在り方検討特別委員会・・・1回(10/2)



ふるさと納税について 【ふるさと納税の増額は住民サービスの向上につながります！】

ふるさと納税の業務については、令和4年3月から「奥霧島地域商社ツナガルたかはる株式会社」が取り組んでいます。

令和4年度ふるさと納税総額（前年度比 約1億9,685千円増）

4億4,052万6,000円

(内訳) 4億3,307万2,000円 (ふるさと納税額)
745万4,000円 (ふるさと納税災害寄付額)

納税事務に必要なとされる予定経費 (返礼品30%以内+送料+事務手数料等分)

2億1,802万6,800円 ……①

(内訳) 2億1,653万6,000円 (ふるさと納税額の50%)
149万800円 (ふるさと納税災害寄付額の20%)

地域商社で実際に必要とした経費

1億7,628万776円 ……②

(内訳) 1億7,385万6,776円 (返礼品や送料などのふるさと納税運営経費)
242万4,000円 (地域商社出向職員人件費)

令和4年度ふるさと振興基金積立金総額

2億6,424万5,224円

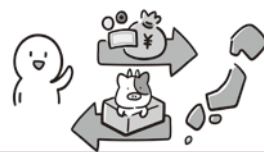
(内訳) ふるさと納税額 2億1,653万6,000円 (4億3,307万2,000円の50%)
ふるさと納税災害寄付額 596万3,200円 (745万4,000円の80%)
積立加算額 (戻入) 4,174万6,024円 (①事務必要予定経費-②事務必要実質経費)

※令和4年度ふるさと納税総額の12%が令和5年度の地域商社の活動経費に充てられます。

【ふるさと納税とは】

ふるさと納税は、寄付額の30%以内の返礼品付き税金控除（還付）制度です。控除上限額内で寄付を行うと、合計寄付額から2,000円を引いた額の所得税の還付、住民税の控除が受けられます。控除上限額は、収入や家族構成によって異なります。

ふるさと納税



キャッシュレス促進事業について 【新型コロナウイルス感染症対策 高原町消費拡大支援事業】

高原町は県内では先行してキャッシュレス促進に取り組んでいます！！

キャッシュレス促進事業実施	総事業費 (コロナ交付金活用)	本町のお店で使われた金額
第1弾 (令和3年8月)	約869万円	費用対効果約 3.5倍 約3,000万円
第2弾 (令和4年5月)	約1,451万円	費用対効果約 3.1倍 約4,500万円
第3弾 (令和4年8月)	約997万円	費用対効果約 4.5倍 約4,500万円
第4弾 (令和5年1月)	約1,590万円	費用対効果約 4.4倍 約7,000万円
第5弾 (令和5年8月)	果たして、本年度の実績は！？次年度決算でご報告致します。	



災害復旧と家畜防疫について



すえなが みつる
末永 充議員



(一般質問の様子)

●災害復旧

問 台風6号の被害状況は。

答 水稲被害約5・58ha、畑作物約6・5ha、農道8箇所、水路5箇所、農地10箇所、町道9箇所、床下浸水2戸、山林5・6ha、養魚場1箇所、家屋1棟全壊、農業用倉庫全壊2箇所、ハウス一部損壊1箇所、停電60戸発生、広原水源地への土砂流入等により376戸が一時断水した。

問 高原町の被害額は。

答 農地、農業用施設災害で9、760万円、町道約3億円、水産養魚300万円の被害である。

問 今後の対策は。

答 地質ボーリング調査、応急工事をおこない災害査定を年内に受け通行が出来るよう進める。

問 今後も線状降水帯が発生し危険が高まることをどのように呼びかけるのか。

るのか。

答 迫ってくる危険に対して、明るいうちに直ちに避難できるよう気象台に要望した。

問 大雨を早めに察知するために、役場や広原等に雨量計を設置しては。

答 国土交通省に要望したい。



台風6号の被災地
(広原 竹広地区)

●家畜防疫

問 牛伝染性リンパ腫の検査率は。

答 令和4年度繁殖雌牛で70・6%、子牛が75・5%である。

問 家畜防疫体制は。

答 畜産振興会単位での消毒作業は、3つの班のみ実施し、病原体を農場に持ち込まない観点から消毒は、農場所有者自ら行う体制で実施している。

町長の考えを伺う



いわもと れいこ
岩元 礼子議員



(一般質問の様子)

●町長の政治姿勢について

問 地域、行政の課題、町長公約の町民幸福度を伺います。

答 地域振興対策として地域商社設立、ふるさと納税の推進、農林畜産業、商工業の振興と雇用の創出、御池・皇子原公園の環境整備による観光の振興、ICT教育の実践による教育環境の整備など実践してきた。ふるさと納税の増額、畜産業の後継者増加、観光客の増加等少しずつ幸せを感じる事業実績が出ていると感じている。

●医療・福祉の充実

問 病院の経営の状況は厳しいが患者さんへの医療は十分に対応されているか。

答 非常勤医師の協力があり、医療体制は整えている。

●高齢者支援・福祉

問 独居老人、コミュニティの薄さ、それに対して私たちができることは。

答 高齢者の見守り事業、自宅訪問、緊急通報機器貸与事業、ボランティアによる訪問実施、自殺防止ゲートキーパー養成講座に取り組んでいる。※ゲートキーパーとは、自殺の危険を示すサインに気づき、声掛け、話を聞いたりといった必要な支援をつなげる人のこと。

●教育環境の整備

問 ICT整備事業は有効活用されているか。

答 国が進めているGIGAスクール構想に準じ、一人一台の端末を整備しており、学校の授業、自宅学習などで有効活用を図るよう努力している。不登校または登校できなかった場合のICTを活用した学習等は検討の必要がある。

●災害復旧について

問 高齢者宅の災害に対し復旧の費用の一部助成、土砂を取り除く等の支援はないか。

答 早期の検討が必要。



「LGBTQ+」を理解を



にしま はるよ
西嶋 陽代議員



(一般質問の様子)

●性的マイノリティ

問 学校現場でのLGBTQ+による、いじめ、からかい、相談は。

答 現況ではない。相談もない。

問 児童生徒への性の多様性について教育は。

答 教職員については、平成30年度に性的マイノリティに特化した研修を行った。それから毎年、人権研修を行っている。児童生徒には、自分と違う相手への接し方を授業の中で学習を行っている。

問 町職員や町民向けの研修・学習は。

答 平成30年度・令和2年度に当事者の方を招いて職員研修を、平成30年度に家庭教育学級に当事者の方を招いて学習会を行った。

問 パートナーシップ制度の検討は。

答 住民の理解促進と行政サービスを円滑に進めるための担当部署間で、のすり合わせが必要。検討する。



●会計年度任用職員

問 会計年度任用職員の任用・配置状況は。

答 令和5年8月31日現在で134名(病院含む)。常勤職員との割合は、一般事務26・9%、一般技師16・6%などである。

問 更新制度は。

答 国に準じて、2回まで。

問 年度途中、任期途中での雇止めは。

答 年度末までの期限付きという条件で、年度途中での雇用停止はない。令和6年度の雇用数、配置数が決まっているものでもない。

●病児保育

問 開設はいつ。

答 10月以降のできるだけ早い時期。

問 確定次第、速やかに周知する。

問 県の「病児保育利用促進事業」の導入は。

答 予定していない。

今まで何をやってきたの、まだまだやるべきがある!



やました かおり
山下 香織議員



(一般質問の様子)

●土地買収問題

問 昨今の外資系企業や外国人による土地の買収問題(サイレント国土買収)における本町の対応は。

答 外国資本による林地の買収を規制する事は今ある法令では難しい。法律等の上位法規(条約を含む)の関係上、本町で条例を作り規制する事も難しい。土地所有者の把握や林地開発許可制度等の適切な運用に努めると共に、水源地の保全に向けた規制の在り方について、国の動向を注視していく。

●国民健康保健高原病院の経営について

問 病院を存続させるにあたり、経営を回復させる為の対策は。

答 令和元年度、地域ケア病床開設、経営改善コンサルティングを交え、町立病院のあるべき姿の検討開始。令和2年から3年、高原町立病院元

気化プロジェクトを企画したが、新型コロナウイルス感染症対策を最優先に取り組んだ為、実質稼働出来ず。この他、意見箱を院内3か所に設置し、その情報を共有し、対策を講じる体制として意見調整部を設置。

『ほほえみ館と町立病院』との合同勉強会を行い、保健師、栄養士、看護師による研修会を企画したがまだ実施されていない。ホームページ開設・広報紙『ひがのぼる』を発行。これからの対策は医師の確保を最優先とし、その後最終的な病院事業の方向性について決定し『高原病院経営強化プラン』策定において、その具体的内容を検討していく。

高原病院広報誌『ひがのぼる』





防災対策強化を!



こおりやま さだとし
郡山 貞利議員



(一般質問の様子)

●町立病院について

問 赤字決算の許容範囲は。

答 国の示す操出基準内で運営することだと考えるが、今後数年間は約3億程度の医業損失となり、同様の経営補助金が必要である。

問 民間から病院運営の移譲・委託の打診があった場合、前向きに考えるのか、もしくは固辞するのか。また、民間移譲の打診が過去にあったか。

答 民間から打診があった場合は前向きに考える。その様な打診が過去にあったが、条件等により合意には至らなかった。

●防災について

問 伐採適期を過ぎた人工林はどれほどあるのか。

答 伐採適期は杉35年、桧40年であり、50年を超える人工林の割合は、

町内私有人工林全体の48・9%である。

問 特に傾斜面の人工林において、伐採と植樹の循環は適正に行われているか。

答 適正な管理がなされていないのが現状である。今後、自治体が管理していく森林経営管理制度も視野に森林整備を進めていく。

問 水源地の強化対策は。

答 土砂災害危険箇所の把握に努め、今後の防災対策の参考にしていく。

問 被災者の支援については。

答 今後、町での災害廃棄物撤去の基準を策定すべきと考える。

●公共施設について

問 耐震化されていない役場庁舎建設が学校建設より優先されない理由は。

答 本町の公共施設等整備計画によるものである。

問 中学校と小学校が離れている状況の中、一貫校が成り立つのか。

答 9年間の教育課程を一つにし、諸問題を共有して、施設分離型の一貫校として可能だと考える。

自主財源の確保は、



ふくざわ たくじ
福澤 卓志議員



(一般質問の様子)

●町政

問 町政報告を終えて、今後の方向性は。

答 910名参加。10月中には報告する。

問 自主財源の確保のためにネーミングライツ(命名権)を導入しては。

答 難しい。

●農林行政

問 今回の台風被害は、山林パトロールが行き届いていないからでは。

答 合同パトロールを行い指導しているが、限られた人数で、対応ができていないところもある。

問 今後辻の堂川の被害を生まないために治水対策が必要だが。

答 県に要望している。

●総合政策

問 婚活イベントが必要だが。

答 計画はない。イベントがあれば紹介する。

問 マイナンバーカード交付率によって普通交付税に差があるようだが。

挑戦と巻き込み力

答 8月20日現在7,348枚、83・14%であり、250万円程度の交付税措置があった。

問 返納者は。

答 いない。

●福祉行政

問 大人の引きこもりの相談はあるか。

答 ない。

問 担当課は。

答 福祉課。

問 独居高齢者対応は。

答 民生委員と連携し、福祉サービスにつなげる。

問 避難行動要支援者名簿は。

答 出来ているが、情報開示には同意が必要であり、同意が得られていない。

問 峰寿園から相談があるか。

答 相談を受けている。柔軟な対応を行う。

●教育行政

問 統廃合後の経費は。

答 約6千万円の削減になる。

問 地域に学校は残せないか。

答 計画通り。

問 世界大会等に出場する選手への補助は。

答 9月補正で上程。



町財政の展望は客観的視点で



けいすけ けんじ 議員 主介 陣



(一般質問の様子)

●財政健全化

問 町政報告会では、総務省基準の財政指標を用いずに町の財政悪化を説明したようだが、意図は。

答 複雑な説明になると考えた。

問 財政指標は、町の財政状況が明らかに健全化していることを示している。実質公債費比率の改善が膠着し、将来負担比率のマイナス値も大きい。公共性が高い施設整備につき複式簿記の視点に立ち行つべきでは。

答 まだ判断できない。財政健全化を進めるべき。

●病院事業

問 病院の規模縮小による本町財政への影響につき、試算結果は。

答 診療所化しても約3億円前後の医業損失となり、これまで同様の経営補助が必要。

問 病院経営の財政に関する事項を設置者として直轄管理すべきでは。

答 経営強化プランのガイドライン等を参考にし検討する。

●福祉行政

問 ケースワーカーへの相談事案につき、対象者が解決できず困惑した事例に遭遇した。今後の方針は。

答 好ましくない事例。関係機関との連携を密にしセーフティネットとなるよう努める。

●農業水利施設

問 豪雨により並木区で用水路が溢れ民家に被害を及ぼした。施設整備につき考えは。

答 支線水路の整備に2・8億〜3・8億円程度必要と試算している。応急的に嵩上げ工事等行うが限界もある。土地改良区と協議し、水路改修を図りたい。

●公営住宅の指定管理

問 本町における制度導入の可能性は。

答 現時点では考えていないが、職員負担軽減や委託に係る費用面、徴収率への影響等を総合的に検討する必要がある。

施策計画立案はより慎重に



ぬくみず よしあき 議員 温水 宜昭



(一般質問の様子)

●町政報告会について

問 報告会による方針変更の有無は。

答 病院事業については、常勤医師の確保状況により経営形態を見直す。また、学校統廃合の考え方について変更は考えていない。

問 最終方針決定と報告等の方法は。

答 令和5年10月までに最終方針を決定し、町民へは小学校区で報告したい。

●インフラ整備について

問 高原小学校へ統合の場合、改修等の有無は。

答 老朽化部分の改修工事は必要と考える。

問 災害復旧工事等の早期復旧を望む声があるが。

答 県内の市町村も、重要な共通課題ととらえている事から今後も、国等へ強く働きかけていく。

に向けた取組みは。

答 令和5年8月末現在、管理戸数206戸に対し、158戸の入居者数(76・6%)である。今後の維持管理に向けては、修繕費用の増加が見込まれる事から利用状況を見ながら長寿命化や集約化を計り効率的な運営を目指していきたい。

問 県道有水・高原線の道路改良の現状は。

答 令和4年度に木場合地区の測量設計が完了し、今年度地元説明会を実施予定である。また、町としても8月21日に県知事、各部局へ早期改良を要望したところである。

問 庁舎建設は構造耐震指標(1S)が0・3と低く、安全性が懸念され早急に対応すべきでは。

答 耐震判定の結果は認識しており、10月の学校統廃合の方針決定等をふまえてあらゆる方法をもって、安全性を確保する手段を計っていく。





町政混乱の責任は？



ほかもら ひとし 外村 仁議員



(一般質問の様子)

●町政報告会の結果について

出席者の総人数及び割合は。

答 22会場合計

910名。町人

口の11・11%、

18歳以上人口の

12・88%。

問 方針決定の

時期は。

答 10月までに

方針決定する。



●農業関連施策について

問 耕作放棄地の活用について施策や対策は。

答 中山間地域等直接支払制度を

活用し、集落へ交付金を助成している。

問 各種運転免許の取得補助条例を

作れないか。

答 県立農業大学校で農業用限定の

機械免許取得促進研修が行われている。

●町財政に対する町長の考え方について

問 新校舎建設可能と考えた根拠、及び断念の責任は。

答 公共施設等整備の基本方針策定の

過程において建設できると考えて

いた。責任は町長自身にあると認識

している。

問 今後2年間本当に町政ができる

のか不安である。どのように責任を

取るのか。

答 財政の健全化を図っていく事が

責任であると考えている。

問 役場庁舎の耐震は大丈夫か。

答 過去に耐震診断を行い、一部耐

震性がない場所があると認識してい

る。

問 南海トラフ地震が発生した場合、

対策等は。

答 災害対応はほほえみ館に移転を

するが、検証する必要がある。

突然の災害に備え庁舎全体での訓練

をやっていききたい。

問 訓練しても建物が壊れては意味

がない。ほほえみ館の機能を一部病

院に移し、ほほえみ館を役場とし、

足りない場合プレハブで対応する等

検討は。

答 空き部屋等の活用は検討の一部

と思う。

学校や庁舎建設は付随施設で補助率UPを！



まえはら じゅんいち 前原 淳一議員



(一般質問の様子)

●公共施設整備とその実効性

問 今後の公共施設建設の実効性と

優先順位は。

答 公共施設建設工事等大規模整備

は目的が立たない。

●財政の立て直し

問 手法と見直しは。

答 「第4次行財政改革推進計画」

の策定中だ。財政収支見直しについ

てはその都度見直ししていく。

●ふるさと納税

問 寄付額アップの対策は。

答 地域商社が中心となり、魅力あ

る返礼品の開発を行いながら運営ス

キームを確立させていく。

●観光

問 滞在型の観光客の誘致は。

答 商工会、観光協会、温泉事業者

と協議中だ。

問 インバウンド対策は。

答 観光コンテンツの造成をした。

多言語やイラスト等看板の改修を行

う。

問 御池や皇子原公園を起点とした

取り組みは。

答 御池については、企業研修・企

業合宿などの誘致や、アドベンチャ

ーリズムにも力を入れていく。

皇子原公園は登山基地としての整備

をしていく。

問 他地域の発掘は。

答 狭野地区を拠点とし、「奥霧島」

としてブランディングしていく。

●町政の能取り役として

問 残りの任期でどんな町づくりを

していくか。

答 公約実現に傾注していく。

●水道行政

問 激甚化する災害対策は。

答 当面は、災害危険箇所把握に

努め、点検等対策を講じていく。

問 業者不足対策は。

答 漏水修繕や公共工事の入札等検

討し、人材育成にも取り組んでいく。

●農畜産行政

問 和牛繁殖農家への支援策は。

答 飼料高騰対策支援などの措置を

しており、令和5年度も引き続き支

きらり★たかはるびと

あなたの夢を
応援します!!

■第37回 ひえつき節 日本一大会 少年少女低学年の部 優勝



来年も優勝
したいです。

さとう がんじ
佐藤 元侍さん
(並木区/高原小3年)

■高原中学校 体育大会 2年男子200m 記録更新



次も記録を
出したいです。

H22.記録 26秒7
R5.更新 26秒2

したや りゅうが
下屋 琉我さん
(鹿児山区/高原中2年)

■第31回 全日本社会人男子新体操選手権(岐阜)出場

社会人大会で優勝して
全日本選手権大会への
出場を目指しています。
11月11日の演技会を
見に来て下さい。



【小林新体操クラブ】

なかの ゆうき
中野 雄貴さん
(出口区/26才右)

なかの たつや
中野 辰哉さん
(出口区/23才左)

■第51回 山口ギターコンクール 高校生の部 銀賞



来年は金賞を
獲りたいです。

おおoura りくし
大浦 陸史さん
(出口区/高校3年)

■民謡民部少年少女全国大会 (浅草)出場



来年も出られる
ようにがんばり
ます。

こおりやま ひびき
郡山 響生さん
(西広原区/広原小4年)



議会を傍聴しませんか？

6月定例会議の傍聴者数は54人、
9月定例会議の傍聴者数は14人でした。

12月定例会は12月6日(水)開会予定です。

一般質問

12月6日(水)～

※質問者数により日程が決まります。

本会議は午前10時開会

請願・陳情を出される方は11月28日(火)までにご提出下さい。

詳細は町公式ホームページにて
高原町議会事務局 ☎42-5138

編集後記



敬老会の様子

9月17日・18日、町内7か所の区で4年ぶりとなる敬老会が開かれました。歌や踊りを披露する子どもたちと、拍手と涙で応えて下さる皆さん。役員の方々も御準備、大変だったでしょう。

子どもを慈しみ、人生の先輩を敬うという温かい雰囲気にもまれた会でした。私たちも、その気持ちを忘れずに、議会活動に取り組んで行きたいと思っております。

皆さんもぜひ、御意見をお寄せ下さい。

編集委員 西嶋陽代